

東京電機大学大学院システムデザイン工学研究科規則

令和3年3月9日

規 4 第 129 号

第1章 総 則

(趣旨)

第1条 システムデザイン工学研究科規則は、東京電機大学大学院学則（以下「大学院則」という。）第3条第2項に基づき、システムデザイン工学研究科（以下「本研究科」という。）の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的、学年及び学期、教育課程、課程修了の要件その他大学院則施行上必要な事項を定める。

(人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)

第2条 本研究科は、学部教育で培った科学技術に関する知識をさらに発展させ、自然と社会とに調和し、人間がより充実した生活が営める環境を創生するに必要な科学技術の開発及びそれを発展させる能力を修得させることを目的とする。すなわち、快適で充実した生活のデザインとそれが営める環境の創生・維持と発展に、科学技術を適用しかつ共生させることができる、幅広い視野と時代の方向性を見通す先見性と創造性を有する高度専門科学技術者を養成する。

2 本研究科の各専攻における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

(1) 情報システム工学専攻は、次世代情報社会の基盤を担う人材を養成する。すなわち、次世代ネットワーク環境におけるビッグデータを伝達・蓄積・解析するために必須となる、AI、IoT、コンピュータシステムなどに関する最先端技術を修得し、研究活動を通して、科学技術者としての高い倫理観と、時代の変化、多様化そしてグローバル化に対応できる能力を涵養することを目的とする。

(2) デザイン工学専攻は、複数の分野の技術や知識が融合する場において、実践的かつ先見性をもって問題を解決し、あらたな「モノ・サービス・空間」を創造し、我々の生活を変革できる人材を養成する。そのために、現状の課題のみならず、将来に得られる結果をより良くすることを志向したデザイン思考による問題解決ができる能力及びユーザ・社会・環境に関する知識と関連する最新かつ幅広い技術を、研究活動を通して主体的に習得するとともに、科学技術者としての高い倫理観と、時代の変化、多様化そしてグローバル化に対応できる能力を涵養することを目的とする。

第2章 学年及び学期

(学年・学期)

第3条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を次の2つの学期に分ける。

前学期 4月1日から9月4日まで

後学期 9月5日から翌年3月31日まで

第3章 教育課程

(授業科目・単位等)

第4条 本研究科における授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

第4章 成績及び修了

(成績評価・単位認定)

第5条 本研究科は大学院則第23条に基づき、科目の成績評価を行う。

2 本研究科における、成績評価及びGPA (Grade Point Average) ポイントは、次の評点区分に基づき行う。

評点	成績評価	GPAポイント
90～100	S	4
80～89	A	3
70～79	B	2
60～69	C	1
0～59	D	0
放棄	—	0

(修士課程修了の要件)

第6条 本研究科において修士課程を修了するには、2年以上在学し、自由科目を除き、所要科目30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた業績をあげた者については、1年以上の在学で修了を認めることができる。

2 前項の場合において、修士課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

第5章 改正

(改正)

第7条 この規則の改正は、本研究科委員会の議を経なければならない。

附 則

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

2 この規則は、令和4年3月1日に第4条別表第1(システムデザイン工学研究科の授業科目及び単位数)を改正し、令和4年4月1日から施行する。

3 この規則は、令和5年3月14日に第2条第2項、第4条別表第1（システムデザイン工学研究科の授業科目及び単位数）を改正し、令和5年4月1日から施行する。

4 この規則は、令和6年3月5日に第4条別表第1（システムデザイン工学研究科の授業科目及び単位数）を改正し、令和6年4月1日から施行する。

別表第1 システムデザイン工学研究科の授業科目及び単位数

別表第1 システムデザイン工学研究科の授業科目及び単位数

情報システム工学専攻

授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択	
情報システム工学特別研究Ⅰ	4		
情報システム工学特別研究Ⅱ	4		
システムデザイン工学セミナーⅠ	2		
システムデザイン工学セミナーⅡ	2		
IoT研究開発特論		2	
ネットワークセキュリティ特論		2	
先進コンピュータシステム特論		2	
都市・地域におけるデジタル化特論		2	
コンピュータネットワーク特論		2	
非同期システム特論		2	
ソフトウェア工学特論		2	
リファクタリング特論		2	
サービスデザイン特論		2	
デジタル・フォレンジック		2	
マルチメディア工学特論		2	
機械学習特論		2	
データサイエンス特論		2	
人工知能特論		2	
知能ロボティクス特論		2	
言語メディア特論		2	
コミュニケーション音響学特論		2	
情報システム工学最前線		2	
システムデザイン工学先端FBL-A		2	
システムデザイン工学先端FBL-B		2	
情報数学特論		2	
信号処理応用特論		2	
海外サイエンス・プログラム		2	
アカデミック・プレゼンテーション		2	
アカデミック・ライティング		2	
研究者倫理	2		
科学技術社会論	2		
総合技術特別講義		2	
融合技術戦略特論		2	
技術経営学特論		2	

デザイン工学専攻

授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択	
デザイン工学特別研究Ⅰ	4		
デザイン工学特別研究Ⅱ	4		
システムデザイン工学セミナーⅠ	2		
システムデザイン工学セミナーⅡ	2		
生体情報システムのデザイン特論		2	
信号処理応用特論		2	
プロダクトデザイン特論		2	
デザインエンジニアリング特論		2	
デザイン工学特論		2	
共創・デザイン特論		2	
コミュニケーション音響学特論		2	
サービスデザイン特論		2	
教育システム工学特論		2	
社会音響学特論		2	
都市・地域におけるデジタル化特論		2	
マルチメディア工学特論		2	
ネットワークセキュリティ特論		2	
ユーザビリティ特論		2	
生態学的デザイン特論		2	
ヒューマンメディア環境特論		2	
環境デザイン特論		2	
建築空間特論		1	
地域施設計画特論		1	
近代建築特論		2	
デザイン論		2	
システムデザイン工学先端FBL-A		2	
システムデザイン工学先端FBL-B		2	
情報数学特論		2	
海外サイエンス・プログラム		2	
アカデミック・プレゼンテーション		2	
アカデミック・ライティング		2	
研究者倫理	2		
科学技術社会論	2		
総合技術特別講義		2	
融合技術戦略特論		2	
技術経営学特論		2	